



赤い羽根共同募金運動

目次	2	福祉サービス利用援助事業
	3	篠山市災害支援市民ボランティア特集(第12次)
	4	NEWS福祉
	5	ファミリーサポートセンター 地域包括支援センターだより
	6	Vボラナビ 〜ボランティアナビゲーション〜
	7	善意銀行だより 心配ごと相談日
	8	情報ボックス あとがき

10月1日(月)から「赤い羽根共同募金運動」が始まり、篠山市内の各所で街頭募金が実施されました。

写真は、10月20日(土)に西紀サービスエリア上下線で実施された街頭募金の様子です。民生委員、福祉委員、ボランティア、西紀中学校Jr.ボランティアの皆様にご協力いただき、たくさんの募金を集めることができました。

『自分らしく、住み慣れた地域で暮らしたい』その思いの実現をお手伝いします。

福祉サービス利用援助事業

(日常生活自立支援事業)

福祉サービス利用援助事業とは？

介護保険などの福祉サービスを利用するには、自分で福祉サービスを選び、契約しなければなりません。判断能力に不安があるために、上手に福祉サービスを選ぶことができなかったり、利用料がきちんと支払えないことがあります。

そのような方々が自分で福祉サービスを選び、利用しながら地域で安心して自分らしく暮らせるように、社会福祉協議会がサポートする事業です。

このような場合にご相談ください

- 福祉サービスを利用したいけれど、手続きがよくわからない。
- 福祉サービスの利用料請求書や役所からの書類が届くが、内容がよくわからない。
- 公共料金や家賃の支払いをしてほしい。
- 通帳や年金証書などの大切な書類の保管が心配。
- 通帳や印鑑をどこに置いたか忘れてしまう...



お手伝いできる内容

(1) 福祉サービスの利用援助

- 福祉サービスを利用し、または利用をやめるために必要な手続き
- 福祉サービスの利用料を支払う手続き
- 福祉サービスについての苦情解決制度を利用する手続きなど

(2) 日常的金銭管理サービス

年金を中心にした日常的な金銭管理のお手伝いをします。また、日常的な金銭管理サービスで取り扱う預貯金は50万円程度を目安としています。

ご希望や状況に応じて、日常的な金銭管理サービスで取り扱う通帳・印鑑をお預かりすることもできます。

- 年金および福祉手当の受領に必要な手続き
- 税金、社会保険料、公共料金、医療費、家賃などの支払い手続き
- 日常生活に必要な預金の払い戻し、預け入れなどの手続き

(3) 書類等の預かりサービス

＜お預かりできるもの＞

- ・ 預貯金の通帳 ・ 銀行印
- ・ 年金証書等、再発行が可能な公的書類

利用できる方

在宅で生活されている、判断能力に不安のある高齢者や知的障がい者、精神障がい者などで、本人の利用意思が確認できる方です。

また、近いうちに退所または退院し、在宅で生活される予定のある方も、入所・入院中から利用できます。

利 用 料

- ・ 1時間 1,000円
※利用時間は30分(500円)ごとに計算します。
- ・ 生活保護を受けている方は無料です。

問い合わせ先

篠山市社会福祉協議会
地域福祉課(担当) 岸本尚子
奥山彩子

TEL 590-1112 FAX 590-1123



篠山市災害支援市民ボランティア

東日本大震災 第12次市民ボランティア

日程 10月26日(金)～29日(月)
行き先 宮城県南三陸町
参加者 一般19名、職員3名

今回、市民ボランティア活動を行った宮城県南三陸町は、町全体が津波の被害を受け、震災当時の人口17、666人のうち595名が命を失い、3、142戸の住宅が全壊する被害が出た地域で、震災後一年半以上経た今でも、2、131世帯が仮設住宅で暮らしています。



現在の南三陸町戸倉地区の景観

現地での活動1日目は、2班に分か

れ、自然の家仮設住宅と波伝谷仮設住宅で、篠山で今が旬の黒枝豆と、しし汁の炊き出しを行いました。炊き出しの枝豆と野菜は、篠山市の吹土地改良区のご協力をいただき、しし肉は株式会社おみやから寄贈していただきました。



仮設住宅での炊き出しの様子

しし汁を食べられた仮設住宅の住民の方は、「いのししは生まれて初めて食べたけれど、コクがあつておいしい。」と喜ばれ、家族の分も鍋に入れて、持って帰られる方もいらつしました。また、「篠山からは、めずらしい枝豆をいただいたので、お礼がしたい。」と、海で取れた貝を「馳走していただき、お互いの食文化の交流もすることができました。」

炊き出しをする中で、仮設住宅の方とお話ができ、これからの生活への思いなどを聞かせていただきました。あ

る住民の方が、「後ろを振り向いても仕方がないし、出来れば前向きに、明るく笑顔で過ごせるようにしたい。」と話され、支援に行った私たちが、逆に勇気づけられたように感じました。また、ボランティアからは、「炊き出しをする事によって、現地の方々との交流が出来たことが非常に良かった。」という感想がありました。

午後からは、語り部ガイドの後藤一摩さんに、南三陸町立戸倉中学校や、防災対策庁舎など被災地を案内していただき、震災時の様子を聞かせていただきました。後藤さんは、「一年と半年が過ぎ、仮設住宅で暮らしているみんなの生活は、落ちつきをとりもどしてはいるが、いつ自分の家を持てるのかなど、これからの正念場だ。」と話されていました。



語り部のお話を聞くボランティアの方々

また、「時が経つにつれ、新聞やテレビで震災や津波のことを取り上げることが、減っていくのかなと思つ。みなさんが、篠山に帰って、家族や周りの人に東北の現状を伝えてくれるだ

けでも支援になる。」とも語られ、最後には涙を浮かべられていたのが印象的でした。

2日目は、南三陸町ボランティアセンターの指示により、被災した住宅の基礎部分から、金属やガラスなどを取り除く、瓦礫撤去作業を行いました。瓦礫の中には、お茶碗の破片や、歯ブラシ、文房具といった生活用品が含まれ、震災までの生活が想像でき、作業中は胸が痛む思いでした。



住宅の瓦礫撤去作業の様子

昨年3月11日に発生した、東日本大震災から一年半以上経過してはいるものの、瓦礫撤去の作業は継続されており、建物の建設といった復興作業も、徐々に始まったばかりで、まだ先が見えない状況です。これから、震災を風化させないためにも、被災地のニーズに合った活動支援を、継続していく必要があると感じました。

(地域福祉課 小西佑季)

『テーマソングのあるサロン』

～千年もみの会～

千年もみの会 いきいきサロンは平成10年から当時の民生委員であった園田^{そのだたかこ}さんを中心に、地域の高齢者が集まれる場所を作ろうと始めました。現在も年12回(うち1回は研修)、大山宮と追入の公民館を利用しながら、開催しています。参加者は平均25名(ボランティア含む)で、設立当初から地域の看護師さんに来てもらい、血圧チェックや健康相談を行い、参加できない人のためにもボランティア手作りのお弁当を配送しています。

今年の7月に、サロンの設立者である園田さんが『千年もみの会の歌』を作られ、サロンの始まりにみんなで歌っています。

『千年もみの会の歌』 作詞:園田誉子

- 一 ここに熟年集まりて 楽しいつどの輪を作り
月に一度の会食を
皆んなで楽しく過ごしましょう
- 二 我等戦前生まれ来て 戦後の時代の人となり
追いつけ追い越せ働いた
若い時代がなつかしい
- 三 ねじり鉢巻踏んばって^{りき}力んでみたが追いつけぬ
身体が言うこときかぬわい
若い時代にやかなわぬ



会食会の風景

- 四 皆さんの力で立ち上げた 千年もみのこの会を
何とか後に続けたい
元氣でご参加頼みます
- 五 年金下がるというけれど 小遣い頂く有難たや
死んでも悔いのないように
でっかい足跡残そうぜ

これは『お座敷小唄』の替え歌ですが、その他にも、節があてはまる曲があり、色んな節で歌われています。作詞者の園田さんは、「替え歌を作るのは得意で、気に入った曲があれば即興で作っています。みんなで楽しむ朗らかなことが好きで、サロンを立ち上げました。サロンを立ち上げるのは簡単ですが、続けていくのが大変。だから、協力して今も続けてくださる皆様には本当に感謝しています。」

と笑顔で話されていました。

もうすぐ15年目を迎えるこのサロンは、追入神社にそびえる千年もみの木のように、地域の人に長く愛され続けています。

(地域福祉課 荻野幸紀)



～「楽しいと体が自然に踊って
しまいます」と語る園田さん～

篠山市老人クラブ連合会 多紀・今田支部交流会

10月31日(水)、今田町立杭陶の郷において、篠山市老人クラブ連合会多紀支部と今田支部の会員26名が参加して、交流会を開催しました。

この事業は、市老人クラブでは初めての試みで、市内の2支部(多紀と今田)が、伝統文化や芸術を通して、お互いの地域を知り、会員同士の交流を深めることを目的としています。

立杭陶の郷での粘土細工作りでは、慣れないろくろを回し、皿やコップなど思い思いの作品を仕上げていきました。

その後、今田に窯を持つ多くの陶芸家の作品を鑑賞し、形、色使いや模様など、繊細な中にも力強さを持った立杭焼きのすばらしさを、改めて実感されていました。

お昼は、陶の郷内にあるレストランで、おいしい食事をいただきながら、黒豆の話に始まり、それぞれの活動についての意見交換など活発に会話が交わされていました。

午後からは、兵庫陶芸美術館において、中国陶磁名品展の鑑賞をし、すばらしい歴史を持つ中国の優れた造形美と高い技術力を堪能しました。

参加者からは「同じ市内にいても、東と西の端で、知らん事が多いな。いろんな事を教えてもらえて良かったわ。次回、多紀に行くのが楽しみやわ。」という声も聞かれ、終始和やかな雰囲気にも包まれていました。

今回の交流会は、篠山の良さの再発見、仲間づくりやクラブの活性化などを考える良い機会となりました。

地域のなかで、老人クラブの役割がますます期待されています。今後も“健康、友愛、奉仕”の精神を掲げ、老人クラブの活性化に努めていきます。

(地域福祉課 松本ますみ)



粘土細工をする会員の皆さん



ファミサポの「事前打ち合わせ」ってなに？



ファミサポ活動で子どもさんをお預かりする際に、必ず行う「事前打ち合わせ」をご存知ですか？ファミサポでは、活動の前に会員さん同士が顔合わせ(事前打ち合わせ)をします。もちろん子どもさんも一緒です。ファミサポ活動は、協力会員さんの自宅で子どもさんを預かるため、協力会員さん宅で打ち合わせをしています。協力会員さんと話をすることで、預けるお母さんの不安も和らぎます。会員さん宅での遊びが楽しくて、子どもさんがなかなか帰れないことも・・・。

事前打ち合わせは、依頼がなくても行うことができます。いちど、協力会員さんに出会ってみたいなどと思われたら、遠慮なくご連絡ください。

また、子ども一時預かり“かんがるー”は、協力会員さんが託児を行っています。会員以外の方も利用することができますので、「会員登録どうしようかな。」と迷われた時には、こちらの利用もおススメです。ファミサポのプレ体験ができますよ。



事前打ち合わせの様子～
協力会員さんに抱っこされてニコリ



～子ども一時預かり“かんがるー”～
最初は泣いている子も、時間がたつと遊べるように...

地域包括支援センターだより

問い合わせ先 ☎558-0324(東部) ☎594-3776(西部)
篠山市東・西部地域包括支援センター

介護予防について

みなさんは「介護予防」という言葉を聞いてどのようなことをイメージされるでしょうか。「高齢になってからするもの」「よくわからないけど大変そう」そのような認識を持っておられる人が多いかも知れません。

介護予防とは、元気な高齢者が要介護状態にならないように、そして介護が必要な人はそれ以上悪化させないようにする取り組みのことをいいます。心と体が活動的な状態にある時、その維持・向上を目指すことを一次予防といい、心と体の状態が少し弱くなってきた時、低下している機能の早期発見・対処を目指すことを二次予防といいます。

これまでの介護予防は、二次予防に対する取り組みに重点を置いており、篠山市でもそのような対象者に焦点を当て事業を展開してきました。しかし最近では介護予防についての考え方が、元気なうちから介護予防をしようという方向に国全体で変わりつつあります。その背景には、脳梗塞

などの生活習慣病や、変形性関節症などの関節系の慢性疾患の増加があります。これらは、長年の生活習慣によって引き起こされるため、早いうちに対策をするほど効果を得ることができ、予防が大変有効に働くのです。また、これからの生活を楽しもうという前向きな意欲が持てるということも、介護予防を早期から始めることのメリットです。

介護予防のために何をしようか迷ったら、自分が楽しいと思うことや好きなことを選んでみてください。地域のサロンや食事に参加してみたり、友人とおしゃべりしたり、軽い体操や運動をしたり、単純な計算やクイズを解くなど、できる範囲で楽しみながら取り組み、長く続けることが、生涯を通じて自立した暮らしや尊厳ある人生を送ることにつながります。

地域包括支援センターでは、介護予防に関することを含め、高齢者やその家族の相談に幅広く応じています。介護予防について詳しく知りたいとか、心身の健康や生活に不安がある場合はお気軽に相談ください。(西部保健師 河村 優子)

報告

篠山市手話奉仕員養成講座 手話を開催しました

5月25日～10月12日(毎週金曜日、全20回)に渡り、手話奉仕員養成講座(入門課程)を開催しました。

受講生の皆さんは大変熱心で、33名の受講生の内、25名が14回以上出席され、笑顔で修了証を授与されました。またこのうち8名が皆勤でした。夜の講座にもかかわらず、毎回たくさんの方が出席され、和気あいあいと受講されている姿が印象に残りました。

また、講師の大内さんと受講生の皆さんが一体となり熱く、はらはらドキドキ発表指名に期待と不安で、笑いあいのうちに講座が進み、終了時には習った手話で会話ができるほど上達されました。

講座終了後も受講生同士のサークルができ、習得された手話を活かそうと定期的に集まってもらえます。手話サークルへの入会希望者も多く、皆さんの今後の活躍を期待します。

受講生の皆さんからの「難しいけど楽しかった」、「向上心がもてた」、「講師や受講生とのコミュニケーションが充実していた」、「手話の基本がよくわかり次の講座も受講したい」との声を大切に、次回の養成講座を企画していきたいと思います。



テキストの拡大コピーを使ってわかりやすく説明



指名される緊張の一瞬



修了式、皆さん満面の笑顔

善意銀行だより

9・10月分

(敬称略)

－ 金銭預託 －

松本美千代(9、10月)(井ノ上)	善意の預託	6,000円
藤木千皓(9、10月)(小中)	善意の預託	40,000円
井関道夫(曾地奥)	善意の預託	20,000円
朝治さかゑ(西荘)	善意の預託	10,000円
堀井良夫(味間南)	善意の預託	30,000円
井本明德(三田市)	善意の預託	100,000円
円応教篠山教会	善意の預託	9,000円
紫苑	善意の預託	130,000円
T.O(9、10月)(小多田)	善意の預託	20,000円

－ 物品預託 －

芦田富基子(9、10月)(今田町芦原新田) 鉢植えの花11鉢
 ……今田地区ひとり暮らし高齢者

飯田成代(9、10月)(垣屋) 折り紙細工 ……給食サービス

西澤昭美(9、10月)(栗柄) 折り紙細工 ……給食サービス

数元とみ子(草野) ピーマン6.4kg ……給食サービス

朝治信彦(西荘) 新米30kg ……給食サービス

酒井京子(郡家) きんちゃく袋35個
 ……給食サービス利用者

澤野啓子(曾地中) ぶどう8kg ……給食サービス

小谷重二(知足) 黒枝豆10kg、里芋12kg ……給食サービス

加治川貞夫(小枕) さつまいも81.5kg ……給食サービス

郡家生産組合 代表 河南昌弘 黒枝豆31kg
 ……給食サービス、障がい者福祉事業所

(株)おゝみや 猪肉切落し5kg
 ……東日本大震災篠山市災害支援市民ボランティア炊き出し

吹土地改良区 黒枝豆60kg、しし汁用野菜一式
 ……東日本大震災篠山市災害支援市民ボランティア炊き出し

匿名 米30kg ……給食サービス

匿名 玉ねぎ20kg ……給食サービス

匿名 米150kg ……給食サービス

匿名 かぼちゃ31個 ……障がい者福祉事業所

社協会員加入 ありがとうございました

自治会長様を通じてお願い致しました社協会員は、みなさまのご理解、ご協力のもと、11,168世帯にご加入いただき、総額7,829,270円(10月末現在)を納入いただくことができました。厚くお礼申し上げます。唯一の自主財源である社協会費は、地域福祉・在宅福祉事業、ボランティア活動、福祉団体育成等、地域福祉の向上のために有効に活用させていただきます。

篠山市社会福祉協議会は、地域福祉活動を担う中核機関として一層の努力をしてまいりますので、今後ともご支援ご協力をいただきますようお願い申し上げ、会費納入のお礼とさせていただきます。ありがとうございました。

社協会長 羽田登喜雄

賛助会費にご協力いただき ありがとうございました

平成24年9月26日

小西 勝 様

ご協力ありがとうございます!

篠山市社会福祉協議会では、「東日本大震災 救援募金」においてみなさまの熱い思いとしてお預かりした募金を中央共同募金会を通して、被災地へお届けします。今後も引き続きご協力をお願いします。

義援金総額

7,321,369円 (247件)

※10月31日現在



心配ごと相談日

下記のとおり相談日を設けています。お気軽にご相談ください。

・丹南健康福祉センター

第1・3・5金曜日 9:00～11:30

・篠山市民センター

第2・4金曜日 9:00～11:30

・城東公民館

4・8・12月 第3木曜日 13:30～16:00

・ハートピアセンター

5・9・1月 第4木曜日 13:30～16:00

・西紀支所

6・10・2月 第1木曜日 13:30～16:00

・今田まちづくりセンター

7・11・3月 第1木曜日 13:30～16:00

*当日が祝日の場合は、翌週に開催します

篠山市の福祉指標

10月末現在

地区	人口(人)	65歳以上人口(人)	高齢化率	増減	14歳以下人口(人)	年少率	増減
篠山	13,145人	3,745人	28.5%	↑	1,615人	12.3%	↓
城東	3,569人	1,256人	35.2%	↑	305人	8.5%	↓
多紀	3,468人	1,399人	40.3%	↑	284人	8.2%	→
西紀	4,356人	1,225人	28.1%	↑	563人	12.9%	→
丹南	16,021人	3,879人	24.2%	↑	2,153人	13.4%	→
今田	3,775人	1,042人	27.6%	↓	405人	10.7%	↓
合計	44,334人	12,546人	28.3%	↑	5,325人	12.0%	↓

ご存知ですか？

「喫茶ふれあい」って!?

丹南健康福祉センター1階の東側に、いつでも皆さんが集まれる憩いの場として、「喫茶ふれあい」を営業しています。

ヘルシーランチ(毎週木曜日)を始めとして、栄養バランスの取れた日替わりランチ(600円)や単品メニュー、飲み物など、多数揃えていますので、ぜひご利用ください!!

営業時間：午前9時～午後4時

営業日：月曜日～金曜日(祝日およびお盆、年末年始除く)



〈問い合わせ先〉

篠山市社会福祉協議会

担当：松本ますみ TEL590-1112

お知らせ

ご不要になったノートパソコンをお譲りください

丹南点訳アイ・愛サークルでは篠山市広報、議会だより、社協だより、図書などを点訳し、視覚障がい者の方に郵送したり図書館に寄贈する活動を行っていますが、活動に際して使用するノートパソコンが現在不足しています。

まだ使える不要なノートパソコン(Windows 95、98、XP)があればぜひご寄贈いただければたいへん嬉しいです。ボランティア活動に役立ててまいりますので、どうぞご協力をお願いします。



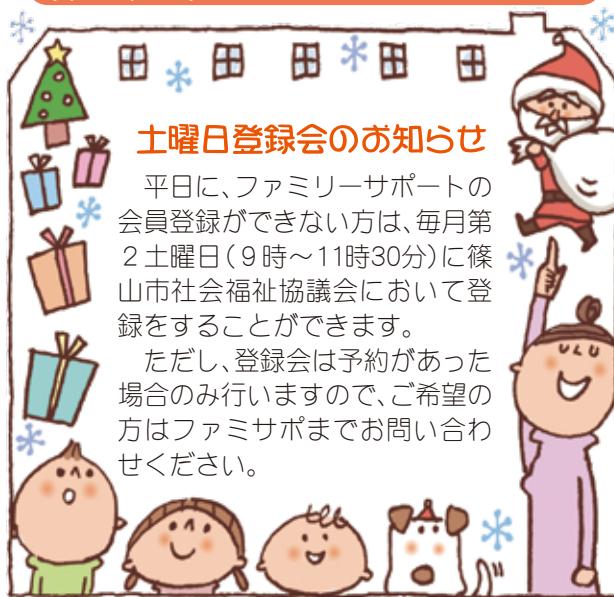
〈問い合わせ先〉

篠山市社会福祉協議会 担当：小村 美晴 TEL590-1112

日本音楽著作権協会より、30年間を通じて最も著作物使用料の分配額が多かった作品に、S.M.A.P.の「世界に一つだけの花」が選ばれました。テレビやラジオからよく流れる曲に、口ずさむこともしばしばです。▼いつものように福祉センターの2階に上がると、お茶の花・菊・シモツケの花が生けられていました。庭先に咲く花を生けられたのと思いきや、少し遠慮がちに咲く花に、生けた方の優しさが伝わってきます。▼ナンパーワンにならなくていい、もともと特別なオンリーワン(畑中寿)

あとがき

篠山市ファミリーサポートセンター



土曜日登録会のお知らせ

平日に、ファミリーサポートの会員登録ができない方は、毎月第2土曜日(9時～11時30分)に篠山市社会福祉協議会において登録をすることができます。

ただし、登録会は予約があった場合のみ行いますので、ご希望の方はファミサポまでお問い合わせください。

子ども一時預かり“かんがるー”

と き：12月19日(水)・1月18日(金)

※10:00～12:00(受付9:45～)

ところ：四季の森生涯学習センター東館 和室(2F)

定 員：10名(生後6ヵ月～就学前のお子さん)

利用料：子ども1人につき 1回500円

申込締切：各実施日の1週間前までにお申し込みください

※利用には申し込みが必要です。

※定員になり次第、締め切らせていただきます。

～詳しくはファミサポまで～

申し込み・問い合わせ先

篠山市ファミリーサポートセンター
TEL 590-1388 担当 林 直美

お知らせ

介護機器貸出事業のご利用案内

篠山市社会福祉協議会では、在宅介護を必要とする方を対象に、車いすなど介護機器の貸し出しを行っています。急な怪我や通院、旅行、お買い物などお気軽にご利用ください。



介護機器	一か月の利用料	付属経費
車いす	500円	洗浄消毒代：1,500円
電動ベッド	1,250円	洗浄消毒代：4,000円 搬入搬出代：各5,000円
マットレス	500円	洗浄消毒代：1,000円

※2週間以内の貸し出しや、非課税世帯の方は無料です。

〈申し込み・問い合わせ先〉

篠山市社会福祉協議会 担当：稲山美穂子 TEL590-1112

この広報誌は共同募金の一部助成を受け発行しています。